

令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(3)学年

◎教科(国語)

使用教科書	教育出版 伝え合う言葉 中学国語3		
学習目標	社会生活に必要な国語についてその特質を理解し、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、言葉がもつ価値を認識すると共に、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
学習計画	前期	4月 「春に」、「立ってくる春」 5月 「私」、「呉音・漢音・唐音」、「和語・漢語・外来語」、「構成を考えて主張をまとめる」 —第1回定期テスト— 6月 「メディアリテラシーはなぜ必要か」、「新聞が伝える情報を考える」、「熟字訓」 7月 「AIは哲学できるか」、「助詞のはたらき」 —第2回定期テスト— 9月 「和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—」、「異字同訓」	
	後期	10月 「async—同期しないこと—」、「問いかける言葉」、「説得力のある批評文を書く」 11月 「助動詞のはたらき」、「慣用句とことわざ」 —第3回定期テスト— 12月 「旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』—」、「四字熟語」 1月 「故郷」、「風景と心情」 —第4回定期テスト— 2月 「意見を共有しながら話し合う」、「初恋」、「受験対策」 3月 「情報をまとめて作品集を作る」	
主な活動形態や使用教材など	【主な活動形態】 個人活動、ペア活動、グループ学習、班活動 【主な使用教材】 よくわかる国語の学習3(ワーク)、単元別漢字3(漢字ワーク)、ノート、プリント、デジタル学習教材		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	・言語の特徴や使い方に関する事項を身につけることができるか。	毎週行われる漢字テスト 定期テスト 授業で行う小テスト 等
	思考・判断・表現	・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討できるか ・表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて文章を整えることができるか ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができるか	・ノート ・定期テスト ・授業で扱う書き物 ・発表 ・スピーチ ・授業観察 等
主体的に学習に取り組む態度	・意欲的に国語の学習に取り組むことができるか	・授業態度 ・提出物 ・発表 等	
学習についてのアドバイス	【授業では】 ・発表する場面、聞く場面、話し合う場面、書く場面など、どのようなシーンでもそれぞれの活動には意味があります。その意味を理解し、一つひとつの活動において、特にどの技能に重点を置いているかを意識しましょう。 ・わからないことがあったら、その日のうちに先生や友達に聞いて解決しておきましょう。 【家庭では】 ・わからなかった問題はその日のうちに復習をしましょう。 ・漢字は何度もテストをすること、文章は何度も音読をすることで身につくスピードが速くなります。 ・ワークについているQRコードを活用し、問題演習に取り組みましょう。		